

# 津波浸水想定図〔尼崎市・西宮市・芦屋市〕(L2 津波)

## < 効果 >

○ 堤内地の浸水面積を約9割縮減(1,849ha→217ha)

## < 津波対策 >

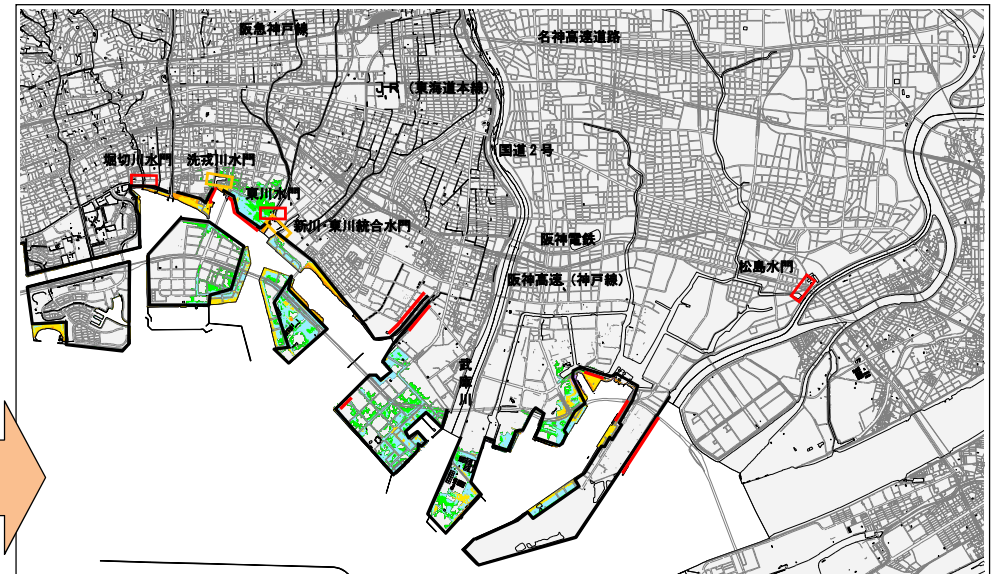
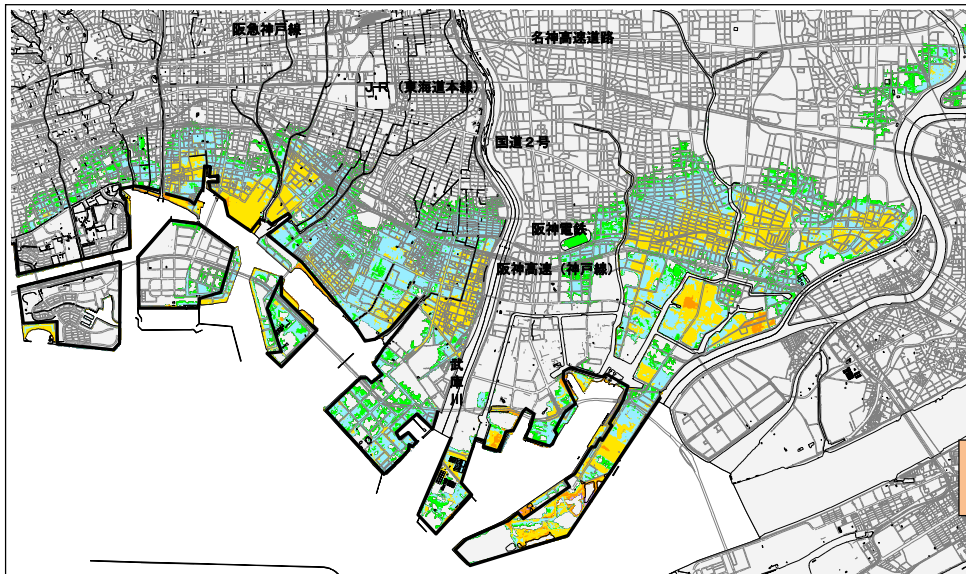
- ① 防潮堤の越流対策(基礎部の洗掘対策) 4.9km
- ② 防潮堤の沈下対策 4.7km
- ③ 防潮水門の下流への移設 2基
- ④ 水門の耐震補強 3基

### 対策前

(条件) ・門扉は開放  
・防潮堤等は津波が越流した場合に破堤

### 対策後

(条件) ・門扉は閉鎖  
・津波対策は全て完了  
・防潮堤等は津波が越流しても破堤しない  
・沈下量の詳細検討結果等を反映



浸水面積(ha)

浸水深	全体	うち堤内地
合計	1971	1849
5m以上	0	0
4m以上5m未満	微少	微少
3m以上4m未満	7	4
2m以上3m未満	53	33
1m以上2m未満	564	517
0.3m以上1m未満	942	901
0.3m未満	404	394

浸水面積(全体) 1,971ha  
(うち堤内地) 1,849ha

— 防潮ライン

浸水面積(ha)

浸水深	全体	うち堤内地
合計	345	217
5m以上	0	0
4m以上5m未満	微少	0
3m以上4m未満	5	0
2m以上3m未満	21	微少
1m以上2m未満	69	17
0.3m以上1m未満	148	109
0.3m未満	100	90

浸水面積(全体) 345ha  
(うち堤内地) 217ha

— 防潮ライン

対策内容凡例

- 防潮堤沈下対策
- 水門整備
- 水門耐震補強

※避難対策に活用することを目的に作成した兵庫県津波浸水想定図 ケース1 (H25.12公表)

※ハード整備の効果を確認することを目的に作成

### 【留意事項】

- ・最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予想される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- ・実際の災害では、局所的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や構造物の変状等の影響を受けるため、計算結果と異なる状況が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。
- ・整備の実施にあたっては、改めて地質調査等を実施して、工事区間や工法等を決定します。